

希

望



令和5年(2023年)4月14日

校長 森 晋一郎

校訓「やさしく かしこく たくましく」



ご入学、進級おめでとうございます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さん、進級おめでとうございます。令和5年度を61名の児童と18名の教職員で迎えることができましたことを心から嬉しく思います。

4月11日(火)、9名の新入生が龍峯校のなかまになりました。入学式に臨む姿勢がとても良く、教室でも背筋をピンと伸ばして先生の話の聴いている姿がとても素敵でした。

入学式では、新入生と3つの約束をしました。

一つ目は、自分の命を大切にしましょう。

二つ目は、人の話をしっかり聴きましょう。

三つ目は、いつでも・どこでも・誰にでもあいさつをしたり、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えましょう。

この3つの約束を守って、学級のなかまとしっかりつながる絆をつくり、先生とお友達で助け合いながら楽しい毎日をつくってほしいと思います。そして、学習にも学校生活にもわくわく・ドキドキする気持ちを大切にしながら、しなやかさとしたたかさをもって、校訓のように「やさしく かしこく たくましく」成長することを期待しています。

入学式に先だって4月10日(月)の始業式でも、2年生から6年生に3つのお願いをしました。

一つ目は、龍峯小学校の校訓を大切に、校訓のように成長すること。

二つ目は、やつしろスピリッツの3つを学校の中でも外でもできるようになること。

三つ目は、本気でとことんチャレンジすること。

この3つを子供たちにお願いしました。これらはどれも昨年度から子供たちに話していますので、子供たちは聞き覚えのある話だったかもしれませんが、校訓の「やさしく かしこく たくましく」は、いつでも子供たちの心の支えにしてほしい言葉です。また、「やつしろスピリッツ」の「自分からすすんであいさつをする」「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」「靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる」は、市内の小中一貫・連携教育の中で学びと育ちの土台にしている考えです。最後の「本気でとことんチャレンジ」は、これからの予測不能な社会に出た子供たちが、困難にもへ
(裏面に続きます)

これまでに、粘り強く取り組む人間性・主体性を高め、「生きる力」を育ててほしいと願ったものです。

願いがとばかりのように思いますが、「挑戦し続けている限り、失敗ではない。(※1)」と言いますので、子供たちには「こんな子供になってほしい」という思いを機会があるごとに伝えていきたいと思ひます。

(※1) “You never fail until you stop trying.” (Albet Einstein)

令和5年度もどうぞよろしくお願ひします。

令和4年度末の定期異動により4名の先生が転出されましたが、4月には新たに4名の先生方に赴任していただき令和5年度を迎えることができました。

今年度も子供たちを教育活動の中心に据えて、学校教育目標「学びを楽しみ、活かす龍峯っ子の育成」を達成すべく全職員一丸となって「チーム龍峯」の旗の下、子供たちにしっかりと向き合って参ります。保護者の皆様、地域住民の皆様どうぞよろしくお願ひします。



職員紹介

二列目

事務主幹
萩永聖二

学校施設
用務員
山下義弘

養護教諭
村崎孝子

学校図書館
支援員(兼務)
早木香屋子

特別支援教育
支援員
岡田裕美

一年生担任
岩崎優香

二年生担任
中川大希

教務主任
丸尾努

(兼務)
英語専科
ALT

一列目

四年生担任
森本康裕

五年生担任
太田雅代

六年生担任
大貝優美加

校長
森晋一郎

教頭
福田洋明

ひまわり1担任
田中貴和子

ひまわり2担任
野田冬子

三年生担任
多武陽子

いわもとけいこ
岩本佳子(岩本舞子)
ター・ベイン・アレンス

九州一周マラソン・朝自習も順調に始まりました

3月の卒業式の中で、5年生の呼びかけた言葉に「先輩方の九州一周マラソンを受け継ぎます」とありました。その言葉をさっそく新6年生が実行しています。全力で走って全体をぐんぐん引っばる6年生、疲れてペースが落ちた下級生の背中に手を当て、励ましながら走る6年生、一人一人が春陽の朝日を受けてキラキラ輝きながら個々のよさを伸ばしていました。

教室に戻った後も、それぞれの学年が静かに朝自習に取り組んだり、まだ慣れていない朝の会を協力して進めようとしたりする一生懸命な姿がありました。学年が一つ上がり、主体性が一つ高まっている姿を嬉しく思いました。

